

～ 平成29年度保健師中央会議 ～

# ソーシャルキャピタルのための 地域の「人財」の育成

～ 地域人財の横つなぎ事例集 ～

平成29年7月28日

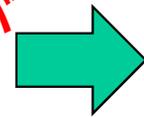
協働のまちづくりアドバイザー 吉永鴻一

090-4622-6450 yoshi86k@ybb.ne.jp

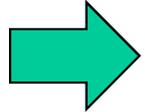
# 本日の発表の内容

「住民一人ひとりができること」の 住民による実践事例

「いくら良い施策をつくっても住民が実践しなけりゃ意味がない！」



「21世紀は初体験の課題が続出！  
もはや、縦割や専門家だけで課題  
発見・解決できる時代ではない！」



**全世代、全分野対象**  
<多職種連携> 生活全般(教育、育児、医療、介護、農業、産業など全分野)の質を高める模索の結果として、健康・保健行政も高められる

**現場第一主義**

**人口 コンマ8掛 前提**

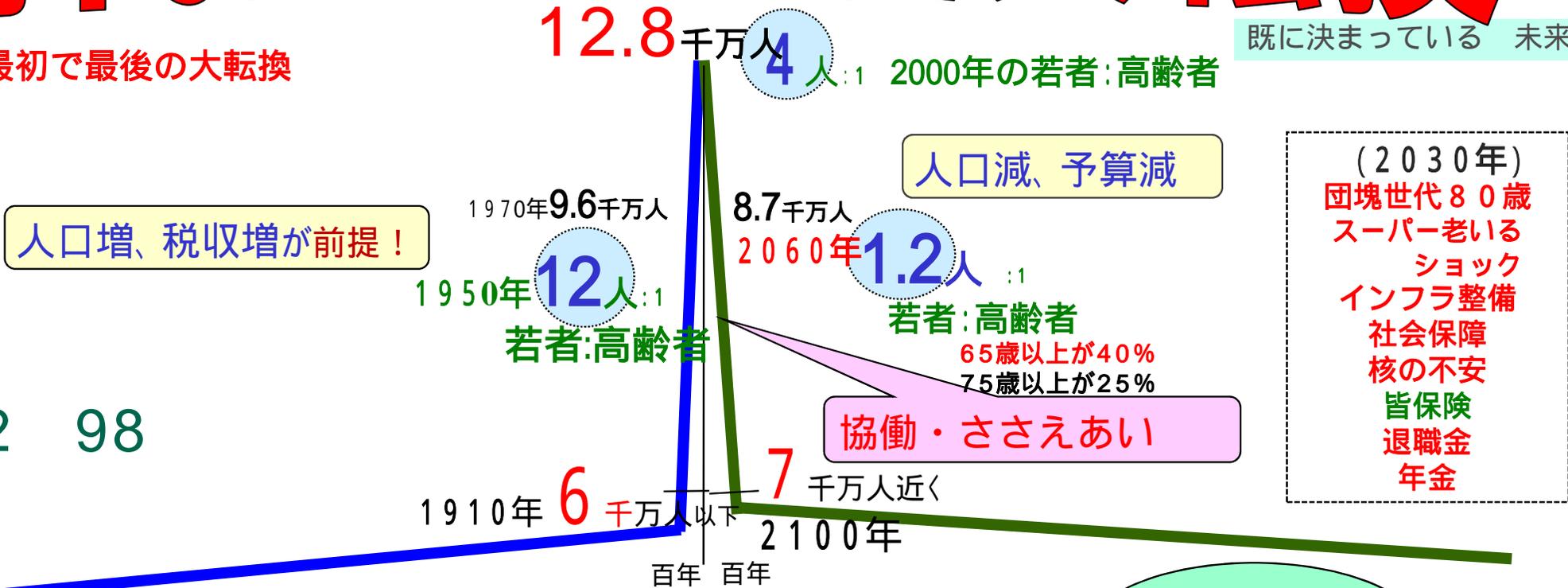
**実践のコツ** 500万年での遺伝子に育まれた

一人ひとりの**長所**を活かし **仲間**をつくり  
**他者**に喜んでもらう…シンプルな方法で

# 時代は180度大転換

日本最初で最後の大転換

既に決まっている 未来



(2030年)  
 団塊世代80歳  
 スーパー老いる  
 ショック  
 インフラ整備  
 社会保障  
 核の不安  
 皆保険  
 退職金  
 年金

主権在民でこそ民主主義

市民一人ひとりが主体

行政に任せっぱなしでなく

国他者 が何をしてくれるかでなく、あなたは国他者 に何をできるか！

「前例ない」は禁句。新しい仕組みを創造しなければ まちが破綻する時代に！  
 →一人ひとりが必要になってきた！→あなたが必要！ 普通の市民の力

# 大切な存在である あなた

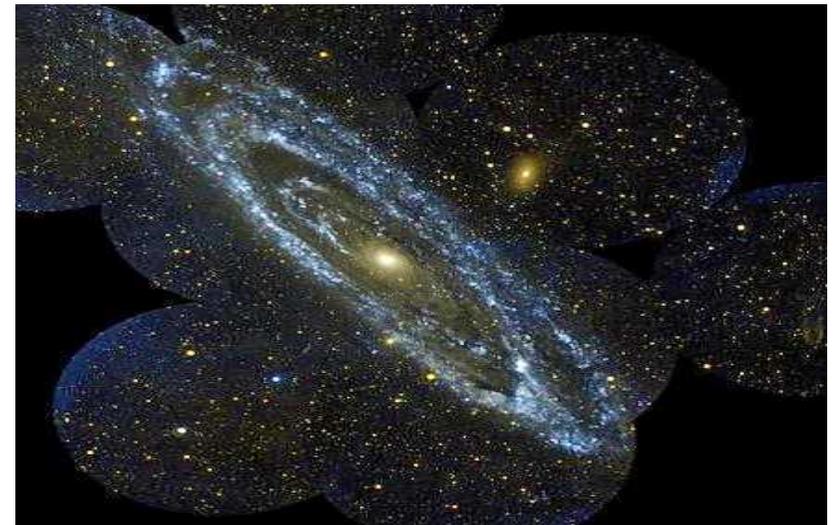
長い年月で、広い宇宙で、たった一つの尊い命！

奇跡！

500万年前、アフリカの大地が割れ  
ヒト(猿人)が誕生した



果てしなく 広い宇宙



以来一度も途切れることなく続いているあなたの命！

だれもが素晴らしい長所を  
沢山持って生まれている！

宇宙でたった一つのあなたの命！

ここに着目！

4

近未来 2030年に、幸せに住むためのつながり創りのコツ

一人ひとりの長所

# 強み 活かしてまちづくり

あなたが お宝です

一人ひとりが  
もってうまれた**特徴**を活かして、  
**仲間**を創って、ひとに**喜んでもらう**

幸せになる  
ために、  
すごいスキル  
は不要です！

あなたイキイキ  
まわりもハッピー

結果として  
**社会的課題**も解決

ひ孫世代に  
幸せプレゼント

5

# 公益的市民団体・ボランティア団体は、素晴らしい！

NPO

市民活動

ボランティア

社会貢献

起業

個人

ほか<sub>6</sub>

孤立死

子どもの貧困率16%

虐待死

いじめ死

自殺

超少子化

1人暮らし増

ヤングケアラー

超高齢社会

不登校

今、噴出中の

認知症増

うつ

# 社会的課題

認知症行方不明

詐欺

貧富差拡大

年金崩壊化

生活保護者増

つながりプツン

地方の疲弊

地方の過疎化

農業の衰退

+ 人生の質の向上に取り組む活動

原発廃棄物有効処理策ゼロ

福島原発問題の未解決

結婚したくてもできない収入

要介護者・要支援者増

若者の就業難時代

自然環境破壊

地域の課題を、自らが、できる範囲で、解決しようと、実践している団体は、とても貴重な団体。

被災地の声：「ボランティアは好きもんが勝手にやっていることだと信じてた。ほんとに助かった！足向けて寝られね……」

# スーパー老いるショック時代 を楽しく

高齢者の持っている力を生涯現役で使えるような新たな働き方  
(ハタをラクにする、有償、無償のつながり方) を創る 葉っぱビジネス  
つながりの中で地域参加していることが心の安定の元 孤独死防止

## 幸せって？

物



心

が豊かにあるから 幸せとは限らない

金や物、権力に固執せず、ごまかしがまかり通らない真っ当な社会こそが次世代を幸せに

**つながる行動が豊かだから幸せなのだ**

物がなくて不便でも心がつながっていれば幸せと感ずることができる！

全ての活動に 笑いが必要

笑う門には 福来たる

顔

風呂からあがって服着たる アハハ



様々な場で  
笑いを伝播。  
笑いヨガなど

アハハ体操 福来たる

活動が 楽しくなれば 長続き



2011.3.11 ~ 被災地で



# ワークショップ手法の活用を！

## 会議 変われば まち変わる

### ワークショップ ほか

- ・ファシリテーターを育てよう
- ・数人で卓を囲んで対話
- ・一人ひとりが、参加 → → 民主主義化！
- ・喫茶店の雰囲気 で リラックス
- ・お花もコーヒーも 楽しい雰囲気
- ・300人居ても仲間感を共有できるワールドカフェ
- ・テーマからはずれたら即注意！

(例) 坂戸市・生活支援シンビオージ主催・7月6日のテーマ

「地域に欲しいこんな場所」

### グラフィック・ファシリテーション など



## 事例-1

# お父さん お帰りなさいパーティ(オトパ)

特にシニアの経験と知恵を、退職後の、生きがい創り、地域コミュニティ、まちづくり、健康、保健、医療・介護などに活用。老若男女すべての層と関わる

### きっかけ

企業在社中に、各企業の尊敬する先輩たちが退職後やることがない状態、一方、地域ではヘルプしてもらいたいケースが山積みの状態に気づき、双方のマッチングの必要性を痛感。

### 開始年

1999年運営委員を担当していた社協・ボランティアセンター武蔵野に提案、2000年に第1回を開催。各地に伝播。2003年に居住地八王子にも立ち上げ。

### 2003 八王子設立

### 参加対象

主対象は退職シニアだが、シニアのイキイキ人生を願う人なら老若男女どなたも大歓迎。通常70%がシニア男性。

初回:武蔵野 2000年5月13日 場所:横河電機

yoshi86k@ybb.ne.jp



# お父さんお帰りなさいパーティ(オトパ)

事例1

## シニア世代 これからこそが 本領発揮!



年齢を重ねても、地域でイキイキ暮らしていくための楽しいイベント!

- スーパー老いるショック
- 地域包括ケアシステム
- 異常自然災害の連発
- 若者・子どもも大忙し

これからの時代こそシニアの出番!

ビールも

男は酔ったふりして 本音を語る……

始めりゃ待ってるルンルン人生 やらなきゃ待ってるモンモン人生

好き(必要)なこと 仲間つくって 楽しもう  
 イキイキと 生きたきゃやろう ボランティア 日の原先生  
 ひとまずは はじめの一步を踏み出そう  
 好きだった、今好き、楽しい、必要だ、本業延長、生きがいの元(次スライド参照)

妻への 気づかい 相当 重要！

一日中家でゴロゴロしてないでよ (亭主在宅症候群)	昼は外へ出よう
いちいちどこに行くか聞かないでよ	も~う！
あ~ あなた お願いだから自立して！	マイリズムで暮らしたいの！
威張らないでよ 人間として対等なのよ	さん付け
介護は女の仕事と思わないで。あなたの親よ	感謝の言葉を！

仕返しは介護のとき！ オー、こわー・・・

# 自分に向いている活動の見つけ方

事例1

Y-A面  
 通知イベント紹介を得るため当紙をボランティアセンターに提出することを了承する・しない  
 ありかえろう できそうなこと できること

## できることシート

後日適切なイベント情報をお知らせさせていただく場合がありま  
 ようしければ、差し支わりのない範囲で

○印: できる、できそう  
 ●印: 今やっている  
 ◎印: 特にやりたい

できること・できなこと	学習支援(小中学生)	読み聞かせ・朗読
農業の手伝い	個性ある子の見守り	お手玉・折り紙・線取り
森林の下草刈り・伐採	図書ボランティア	料理(お菓子含む)
里山・公園の手入れ	スポーツ指導	演奏( )
農園・花木の手入れ	文化指導	図書・将棋
草取り	パソコン・サポート	童謡・唱歌
日曜大工	安全パトロール・送迎	手品・漢字
高齢者のイキイキお手伝い	車送迎(幼稚園・高齢者)	外国語指導
		国際交流
		日本語ボランティア

## はじめの一歩シート

- ひとまずは、はじめの一歩を ふみだそう。
- “好きだった” “今好き” “楽しい” “必要だ”  
 “本業延長” ポラのもと。

以下は、あなたの大切なお宝です！  
 生まれてから、〇〇年間かけて蓄えた、あなたのお宝です  
 この半留に、ひとり

① 好きだったこと 少年少女時代に 好きだったこと (遺伝子が呼んでいる！)	文章をかくこと	④ 必要なこと やらなければいけ ないこと
② 今、好きなこと 趣味・特技など、今、 好きなこと	うたうこと	⑤ 本業延長 本業の延長で、 気楽にやれること これが最もやりやすい
③ 楽しいこと	ウォーキング	

・できることシート  
 ・はじめの一歩シート

## 事例ー2

# 被災地・モデル地区の自治システム構築

サイドバイサイド<sup>インターナショナル</sup> (300トンの救援物資いわき~宮古)

石巻応援団八王子代表 (4年滞在)

石巻市協働のまちづくりアドバイザー (市より委嘱)

16町会・4,500世帯の自治システムづくり

並行して、各種市民主体活動の創設実践

今年6月と7月、女川、石巻、福島、相馬、南相馬、富岡町、浪江町、大熊町、いわきなどを訪問。

# まさかまさかの想定外 着々復興中

事例2

死者・不明者数 **最多市** 石巻市 4千人(関連死含む)  
東北地方 2万人



2017年7月石巻復興住宅ほぼ完成

南浜

奥は海まで、広大な公園の工事着工中

日和山の下から復興住宅までは家が。

# それぞれの復興！ひ孫たちの 幸せは 全国民の願い

事例2

## 福島大熊町・浪江町

放射能廃棄物処理方法：世界中でまだ発明されていない

2012年 黒い廃棄物袋ズラリ

先祖代々の故郷に帰れない

チェルノブイル 中心地人口 5万人が30年たった今もゼロ

2017年7月 黒い廃棄物袋は、劣化防止のため緑のシートで覆うことに



2017年7月 女川の右側  
土盛り中

左側は駅舎や店舗建設済

2017年7月 いわき

延々と防潮堤

# 「それぞれの復興」に挑戦し続ける 日本人の遺伝子は最高！！！！

事例2

被災地の方々のご努力と粘りには、感動すらおぼえます

忘れない・・・ことが 力強い応援になるのです

心のキズは癒されないまま、コミュニティ創りが大きな課題の地だらけ  
家を失った人、被害の多かった人の復興(心ケア)は遅々として進まず

・明日への希望が見えない  
・つながりブツン

心ケア  
が課題

コミュニティ希薄化

堪え続け

ストレス！

+ 孤独死 特にシニア男性！

ああ なんとということ 日本中で  
同じ現象が増えている

日本の喫緊の課題は  
新しいつながり創り

# 復興支援で気づいた大切なこと

事例2

= 被災地以外の全国各地でも同じ課題！

1. 日頃、日頃、日頃のつながり創り  
多職種連携 (増幅の原理)
2. 市民主体活動 自分たちのまちは自分たちで創る！
3. 地域の新しい協働 自治会 + 非会員 + NPO
4. よそ者パワーの活用 U, I, J, Nターン
5. コミュニティビジネス化、雇用創出

18

# 住んでいる地域での **新しい**つながり創り

縦縦横横丸描いてチョン

被災地市長からの委嘱。協働のまち創りアドバイザー

1. 町内会への協働依頼 **(既存組織の尊重)**
2. 講演 & 井戸端会議 **(3層協働: 全住民対象のワークショップ)** **(テーマ型組織)** **自発的市民活動** **(地縁型組織)** **町会など**

16町内会、全戸配布、有志対象、19時から、14回実施

**講演** ~自分たちのまちは 自分たちで創ろう! ~時代は180度大転換  
**井戸端会議** 「〇〇地区の未来について語ろう」

- a. 地域の**長所**はなにか? まずは誇りを
- b. **2030年** どういうまちでありたいか
- c. **今、私(たち)**は何をするか

具体案**130**以上 できるところから団体設立へ

3. **団体づくり** **1年で17団体**設立

事例2



# 2030年を見据えて! **自発的に設立した市民団体**

認知症を考える会



紙芝居



笑いを広める会



お茶っこ 台所



傾聴の会



昼カラオケ



音楽を楽しむ会



パソコン教室



日曜大工



学校美化



花壇手入れ



読みがたり



あいさつの会

ウクレレ  
音色から生きる力を!

お手玉の会

方言かるたの会  
ほか

シニア参加 90%

継続できるかは **コーファシ育成<sup>21</sup>したい**

コーディネーター、ファシリテーター

心ケア 実践のようす

主体的市民活動そのもの

# 日本の ご近所づきあい 見直そう

事例2

## お茶っこ

2017年6月 テーマは「詐欺」



同区画のご近所さんが  
**個人のお宅に集まります。**  
**もう数年も月1回！ 継続は力也**

初回は避難所暮らしの**切実な話**を涙で。  
…今はキャーキャー笑いながら。  
すてきな、昔の乙女たち！ 高齢男性も居るよ

遅々として進まない復興をお互い  
に**励ましあって乗り越え中**です！

22

## 紙芝居の会

往生の 10日前まで 支え手で！

事例2



70、80歳代の高齢女性たちが読みに。  
年54回も！ 下の世代からも感謝！

支えられる側から、支える側に！

## 認知症を考える会



認知症 ひとつとじゃない 明日我が身

行政でなく、**高齢女性たちが企画**  
地域包括ケア、社協、行政などと協働  
無料で感無量 アハハ

## 事例ー3

事例3

# 地域包括ケアシステムの推進

## 石巻で最初の包括ケアシンポジウム

**市民主催・行政協働** 2015年3月講演 「包括ケアってなあに？」

講師:長純一医師(包括ケアセンター長) 100余名参加

## 八王子最初の包括ケアシンポジウム

**市民主催・行政協働** 2016年3月講演 100余名51団体参加

講師:市の課長 ワークショップ 市民が出来ることって？

## 認知症を考える会、包括ケアの会開催

## コーディネーター・ファシリテーター講座

自助・共助を実践する上で要となるスキルに長けた人を大勢育てることを  
ワークショップなどで実践中。コーディネート・ファシリテートが市民活性化の鍵！

**このことは、震災復興でも、嫌というほど、感じた！**

24

時田ホールでのまんまる堂 を産んだ元となった活動

# ケアカフェかたくら 2年以上毎月継続

事例3

近隣の住民や介護の専門家など、実に様々な立場の人が月一でワークショップ。包括ケア推進イベントでは八王子でも高評価の集い。その永年の**成果として、今回5月に、70歳代元気高齢女性2人が仕切る市民中心の「まんまる堂」**が産まれたのだった。まさに継続は力なり。

特定の病院患者だけでなく、地域住民や専門家に広く門戸を開いてのケアカフェ。代表湯浅直樹氏。PTA会長

**バックアップの永生病院(安藤高朗理事長)**は地域包括ケア推進においても市の鏡である。

25

# まんまる堂・オープン (コミュニティ・カフェ)

事例3



70歳代高齢女性2人発起人。町会会員、非会員、各NPO団体員、近隣の町会会長、他の町会住人、子どもたち、子育てママ、老人会、PTA、地域包括支援センター、行政ほか、実に多様な方々が集まった。うどん、音楽、紙芝居、笑いヨガ、飲食、おしゃべりなどを楽しみながら課題共有。



## 新しい協働 + 包括ケア + 新しい地域自治のモデル!

# 新しい地域自治

三層協働

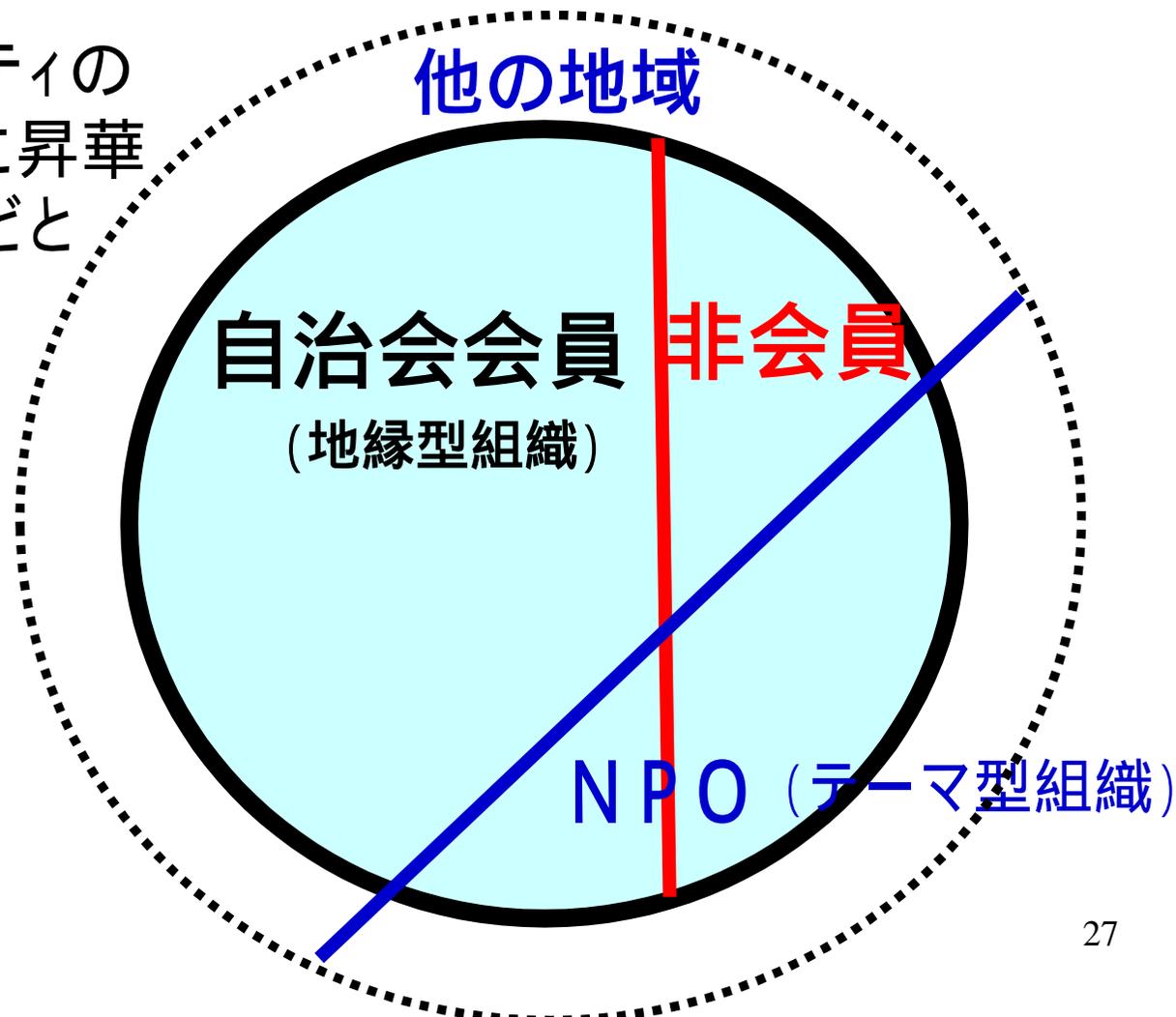
事例3

(自治会会 + 非会員 + NPO)

自治会は今後も地域コミュニティの中核。新しい自治の在り方に昇華し、**非会員**、**NPO市民活動**などと協働して進めることで、**新たな展開**が生まれてきます。

## 包括地域自治

- ・**非会員**も住民！
- ・NPOとも協働
- ・**近隣地域**とも協働
- ・**よそもの**の発想とりこみ



新しい

# 協働

事例3

異団体、異世代

高齢者

子育て

学校

町会

行政

いままで

これから

同一テーマ（認知症対策）

社会福祉協議会  
市民団体  
地域包括ケアセンター  
その他

幼稚園  
小中学校  
高校  
警察

石巻 市民主催包括ケアフォーラム  
2014年 100人余



八王子 市民主催包括ケアフォーラム  
2015年 51団体100人余

# 地域包括ケアシステム の推進

事例3

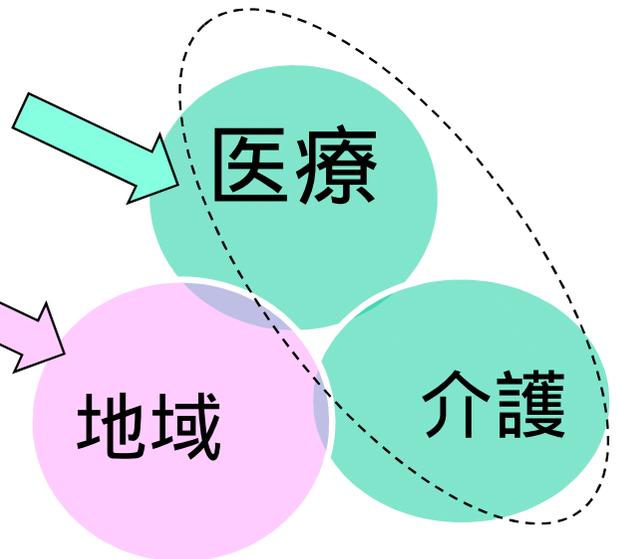
高齢者が人生の最期まで、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるための新システム

これからの福祉の中核的施策

医療・介護・予防・生活支援などの**専門家と協働**して

**一般住民も出来る事をしてささえあう！**

(認知症を考える会、地域包括サロン、紙芝居、お茶のみ会、生活支援) **ヤングケアラー**



## 多職種連携で進めることが極めて重要

少子高齢化と予想不可能大災害続発の21世紀では、異種協働の実践なくして、課題の解決は間に合わないし、ひ孫世代に安心を継承できないことを共有しあう。

29

# 地域包括ケア

## 市民団体主催 市民向け活動事例 テンプレート

事例3

### 地域包括ケアフォーラム in 八王子

# 地域包括ケアって な〜に?

つながりあおう 全分野

H27年 3月14日(土) 10時~12時

西武信用金庫八王子支店・八日町(八日町交差点7イレブ隣)

高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを創るための、**新しい支援体制**です。全世代の幸せを目指す、**その内容やいかに!**

講演: 地域包括ケアシステムの概要

八王子市高齢者福祉課 課長 溝部和祐氏

ワールドカフェ:(一人ひとりの意見を大切に作る楽しい会議)

テーマ「高齢者福祉、**市民ができることは何か**」総合ファシリテーター吉永



三位一体での包括ケア

自分たちのまちは自分たちで創る!

- ・医療や介護等の専門家だけに任せない市民参加(市民主体活動)を活性化させる
- ・子どももジージバも共に高齢者1/4時代を見据えた新しい発想で
- ・認知症みな優しくしけりゃ怖くない

**申込:** できれば事前に、氏名、年代、メールまたは電話、町名、団体名等を。

定員 40名 参加費 100円 [yoshi86k@ybb.ne.jp](mailto:yoshi86k@ybb.ne.jp) 090-4622-6450 吉永 まで。

主催: 子ども支援アンアンネット (すべての世代の一人ひとりがイキイキと)

後援: 八王子市、八王子市地域包括支援センター、八王子市社会福祉協議会

### 認知症サポーター養成講座 in 〇〇〇町

# 認知症ってな〜に?

平成27年 5月23日(土) 10時~12時

〇〇〇町会会館 参加費ご寄付 100円以上、場所代など

講師: 八王子市地域包括支援センター 中野のセンター職員さん

(市の認知症サポーター養成講座を兼ねます)

認知症になっても幸せに暮らしていける元本郷町にするために、まずは認知症の予防やなってしまったときの対応などについて学びましょう。

10:00 メイン講座 包括支援センター認知症講座 及び 短い講座「自分たちのまちは自分たちで創ろう!」  
11:10 「一で、住民として何をするか?」ワークショップカフェ

**主催者ご挨拶** 〇〇〇町に住む吉永と申すシニアです。認知症っぽい部分はありますが、決してあやしい者ではありません。一人ひとりがまちづくりのお宝と思っています。3.14に「地域包括ケアってな〜に?」というフォーラムを市全体対象に開催しました。〇〇〇町では「認知症を考える会 in 〇〇〇町」などがすぐに誕生し活動を始めました。一連の活動は〇〇町会長のアドバイスをいただきながら進めています。よろしくお願いたします。

●参加できない人も意見があれば紙に書いて会館入口にある箱に入れてください。5.21迄。

主催: 認知症を考える会 in 〇〇〇町、子ども支援アンアンネット

(元〇〇〇町に暮らした18年目の隣人)

後援: 八王子市〇〇〇町会

# 〇〇〇町の 未来について語ろう

フューチャーセッション!

平成27年 5月28日(木) 10:00~12:00 〇〇〇町会会館

5月30日(土) 10:00~12:00 〇〇〇町会会館

〇〇〇町の町会活動は、その時代時代の役員さんのご努力や長い伝統により、日頃から活発に行われており、住民のみならず大々感謝されています。

一方これからの日本は急激な高齢化が進み、75歳以上が3人に一人という時代も視野に入りました。課題は多様になる一方で各組織も益々忙しくなると思います。スーパー老いるショック社会・超高齢社会を乗り切るには、町会など今までの組織にお願いしているばかりでなく、一人ひとりの住民が、自発的に自分が出来ることをすることも必要になりました。そのことは楽しいことでもあります。

そこで有志の住民(子どもから高齢者まで)により、〇〇郷町での**自発的なまちづくり**について対話して、実践していく始まりとして、楽しい井戸端会議を持つことにしました。

### 当日の進め方

\* フューチャーセッション: 異なった立場の人が対話し未来を創っていく

- 短い講座 「自分たちのまちは自分たちで創ろう!」
- 井戸端会議 ①〇〇〇町の長所はなにか? ②2030年どういうまちにしたいか? ③そのために、今何をするか?

### お申し込み

参加費 〇円以上

お気軽にご参加下さい。当日急な参加もOKですが、なるべく事前に、吉永 090-4622-6450 か FAX26-3783 か [yoshi86k@ybb.ne.jp](mailto:yoshi86k@ybb.ne.jp) に申込みいただけます

### 主催者挨拶

〇〇〇町に住む〇〇と申すシニアです。認知症っぽい部分はありますが決してあやしい者ではありません。一人ひとりがまちづくりのお宝と思っています。3.14に「地域包括ケアってな〜に?」というフォーラムを市全体対象に開催しました。〇〇〇町では「認知症を考える会 in 〇〇〇町」などがすぐに誕生し活動を始めました。一連の活動は〇〇町会長のアドバイスをいただきながら進めています。●参加できない人も、ご意見があれば、紙に書いて会館入口にある箱に入れてください。5.21迄。

主催: 子ども支援アンアンネット、地域包括ケアを広める会 in 〇〇〇町

後援: 八王子市〇〇〇町会

# 島に残る 日本本来の良さ

思いやりの輸出国 日本！



イベントに全員参加。この日一人が高校受験から帰宅



子どもが意見を新しい発想で

日頃異年齢で行動している

**保健師(看護師)さん 理想的。マルチ活躍！ 仕事が多職種兼務型。**

**縦割りなんて言っちゃおれない。生活全般でのささえあいを実践している。**

## 島の強み

- ・若者の移住者が多い。・子どもも自立心旺盛
- ・全員知り合いであり、ささえあっている。
- ・こどもたちは、家事の手伝いをいとわない。
- ・週3回は船着き場に(荷卸し作業共同作業)
- ・大自然の中、ゆったりとした時間を共有している。

## 寄りあい は島の楽しいイベント



# 島のくらし 心豊かさが魅力 若者移住増加中

事例4

島のくらしの強み : アンケート  
(なんとほとんどは、最近都会の人が希求している生活)

1. 世帯間格差を感じるか	感じない
2. つながりが濃いか	○
3. 経済的に生きづらいか	いいえ
4. 中学まで子育てしやすいか	○
5. フェイス・ツー・フェイス	○
6. 思いやりはあるか	○
7. 自然環境はいいか	○
8. 収入はもっと欲しいか	食えてる
9. くらしやすいか	○



奄美・自治会長様  
「これからの自治」  
・自治会会員、非会員、NPO  
団体の3者の協働  
・島の魅力に誇りを  
・一人ひとりの長所活かして

## 事例5 地域での 子ども応援 超急務！

幅広く子どもの心身の健康を育てるのも保健師の仕事の一つ

小中高生に、認知症講座！

市民が手伝えることはワンサとある

学校応援団設立

先生からの要望もたくさん

お手玉

高齢女性が喜ぶ。多世代交流の最たるもの。

放課後さんすう教室

1対1なら絶対わかる！

掃除の見守り

いいところほめるとイキイキするもの。

授業中児童見守り

ホット・スペース 毎日2人。専門家でなくてもいい

パソコン授業

うしろで元企業マンシニアが数人づつ

土曜パソコン教室

忙しい企業のマネージャが年賀状作りなど。

日曜大工：学芸会の大道具づくり

趣味を活かして喜ばれ。

赤ちゃん抱っこ体験会

可愛くて、身近に感じる。

まち探検の付き添い

危なくないよう随行、見守り

# 行政に望むこと

1. 市民主体とはどういうことなのか等、市民の現場の変化を実践で学んだうえでの協働を。  
行政主導から、協働実践への転換
2. すべて実践のためにはコーディネーターが重要。まずは公務員からプロ化。  
行政内コーディネーター（ファシリテーター含む）育成
3. 行政のプロが、市民のプロを実践で育成を。ワークショップに慣れて。  
上記による市民コーディネーター育成
4. 各専門家や素人市民が協働せねば、課題は解決できない時代。  
多職種が交流協働できる場の提供

(背景)時代が180度大転換し、かつ何が起こるかわからない世紀に突入しました。これからは、決まった通りやるだけでなく、全分野全世代が関わって新しい課題を発見し、解決策を探り実践しあう能力が必須になります。そうしないと少子高齢、災害続発のための課題解決に**公務員の方々の心身が疲れていきかねません。**元々十分なパワーをお持ちですから 公共のプロとして市民との協働実践をぜひ先頭に立って導いて下さい。